

第5回 加西市公民館・オークタウン加西のあり方検討委員会 会議録

日 時 令和4年12月21日(水) 13時05分～16時05分

場 所 オークタウン加西 研修室

委 員	委 員 長	松岡 広路
	副委員長	谷勝 公代
	委 員	岡本 教穂
	委 員	藤本 文俊
	委 員	櫻井 臣義
	委 員	国田 徹也
	委 員	植田 美紀子
	委 員	菅野 将志
	委 員	達可 有呉
	委 員	泉 育代
	委 員	藤田 亮
	委 員	大藤 由美
	委 員	前田 恵美
	1名欠席	
職 員	教育長	民輪 恵
	教育部長	千石 剛
	生涯学習課長	北島 悦乃
	生涯学習課課長補佐	高見 和哉
	生涯学習課	近藤 優佳

1.開会

2.イントロ

(委員長)

本日は、年末でお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

今日は、報告書の提言の部分について、皆さんが納得した内容になるように決めていきたいと思っています。

皆さんで作りに上げた報告書は、市民や行政に向けて、実際何ができるのか、何が足りないのか考えてもらうための、たたき台となります。今後のスケジュールとしては、今日の会議の内容を踏まえて、来年の2月頃までに報告書の原案を作りますので、それを皆さんにまた

修正していただき、3月頃に報告書を完成させます。タイトなスケジュールですが、皆さんのお力をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

まず、前回の会議の内容を少しおさらいしておきたいと思っております。前回の会議では、理想と現実を近づけていくための具体的な戦略を、短期・中期・長期に分けてグループで考え、発表していただきました。

その後、個人ワークとして、提言したいものを1人4つ出していただきました。最初の2つには、絶対に提言の中に必要だと思うもの、あとの2つには、全体で合意を得ているわけではないけれど、個人的に特に大事だと思うものや面白いユニークなものを書いていただきました。その内容をまた全体で共有して、内容についてディスカッションをしました。

表になっている2枚の用紙が、個人ワークで皆さんが書いてくださった提言をまとめたものです。預かっていなかったものが1枚ありましたので、今、僕の手元にあるのは入っていませんが、それを含めて、これから考えることとなります。

「優先順位の高いもの」と「特に重視すべきこと」に分けてありますが、同じ内容でも、人によって優先順位の高い方ものに入っていたり、特に重視すべきことに入っていたりと違いがありました。

この後、皆さんに検討していただく報告書の素案には、これらの内容を大体入れてあると思います。

～ふりかえりシートのフィードバック～

3. 報告書の草案について

(1) 内容説明

(委員長)

いよいよ、報告書をどのような形にするのか、その骨格を作らなければいけません。

そのために報告書の素案を2つ準備してきました。1つは、「公民館・オークタウン加西の現状について」という現状や課題をデータで示しているもの、それから、もう1つは、「加西市『公民館・オークタウン加西あり方検討会』提案文書(案)」という提言をまとめているものです。

この2つの資料をベースにして、これから皆さんに意見を言っていただき、今回の会議で提言する内容が、あらかた見えてきたらいいなと思っています。

それでは、始めに、私から皆さんに報告書の骨格となる素案の内容を簡単にご説明したいと思います。その後、それぞれのグループで話をしていただきながら、素案に赤を入れてい

ただきたいと思います。ここの部分はこういう書き方がいいということ、もっとこういう内容を入れるべきではないかということ、その他にお気付きになったことなど様々なご意見をいただきたいと思います。

～報告書の素案（加西市「公民館・オークタウン加西あり方検討会」提案文書 案）を説明～

（教育長）

今の先生の説明をお聞きして、ひとつだけお伝えしたいことがあります。

今、加西市の教育委員会では、未来型児童館の建設計画を進めています。また、中学校は、今ある4校を2校に統廃合します。1校の校舎はそのまま残しますが、3校の校舎は空くこととなりますので、その空いた校舎をどう使うかという問題も出てきます。

さらに、今年、アステリアかさいには、新しく子どもが遊べる屋内型遊戯施設やテレワークセンターが出来ました。

つまり、やりたいことはたくさんあるのですが、そういう施設と4公民館、オークタウン加西の役割分担をどうするか、それを整理していく必要があると思っています。

ですので、委員の皆さんにも、加西市の教育委員会を取り巻く状況にある程度理解していただいたうえで、公民館とオークタウン加西はどうするのかを議論していただきたいと思います。

よろしくをお願いします。

（委員長）

今、教育長が言ってくださったことを、皆さん、ある程度、理解しながら進めてきたのではないかと僕は思っているのですが、どうでしょうか。

改めて先程の教育長のコメントを踏まえ、提言書で何を盛り込み、何を削るか、どうまとめるかについて、これから皆さんのご意見をいただきたいと思います。

（2）グループワーク

～報告書の素案（加西市「公民館・オークタウン加西あり方検討会」提案文書 案）に赤入れ～

(3) 発表・総合討議

(第1グループ)

○発表内容

・P1,第2章タイトル

第2章のタイトル「未来に残したい社会教育施設の姿」というところで、「残したい」というと、今あるものを残すようなイメージがある。「繋げたい」という方が夢のある表現になるのではないか。

・P2, F

「住民が互いに学びながら『社会を変える動きにロマンを感じる』公民館に」というところで、公民館が社会を変えるというと、すごく大きなことに感じるので、「ロマン」という言い方が絶妙な表現だと感じる。

・P2, F

「住民が互いに学びながら、社会を変える動き(くらしづくり、地域づくり、まちづくり、人類に突き付けられている持続可能な社会づくり)が生まれる場所であってほしい」というところで、「人類に突き付けられている」というと、表現が少しきついように感じたため、修正する必要があるのではないか。

・P3,1番

「短期的に取り組んでもらいたいこと(短期的戦略中心)」について、項目の順番を入れ替えた方がいいのではないか。

具体的な順番としては、この中では、「公民館の運営体制の強化」、「『プロジェクト・チーム』の組織化」、「STAEM ラボ・ネットワークの強化」、「公民館へのアクセシビリティ(利用のしやすさ・交通の便)の改善」、「公民館事業の内外への発信の強化」、とする方がいいのではないか。

上の方に書かれているものが上位というわけではないが、一目見た時にそのように感じやすいのではないかと思う。

・P4,2番,黒丸2

中期的戦略となっている「地域内外の人が立ち寄れる空間づくり」について、内容に関してはいろいろあると思うが、短期的目標として取り組むことができるのではないか。

・ P4,3 番,黒丸 1

長期的戦略となっている「多様なつながり・交流を生む IT 社会に対応した施設整備」について、既に STEAM ラボの備品として、公民館にディスプレイや 360° カメラなどの機器が納入されているため、中期的目標にあげてもいいのではないかと。

・ P4,3 番,黒丸 1

長期的戦略の中にある「コワーキング・スペースの創設」について、ワーケーションという言葉もあるので、そういった発想で、コワーキング・スペースをオークタウン加西に盛り込んでもいいのではないかと。

・ P5,1 番,黒丸 2

「社会教育および施設の重要性を学校教育関係者により深く理解してもらうことを趣旨とする『学社交流研修会』の定期開催を」というところで、学社交流研修会は、学校教育の方で進めているコミュニティ・スクールとの整理をしていく必要があると思う。

コミュニティ・スクールの協議会自体がこういった研修会のような形になればいいのではないかと。

・ P5,2 番,黒丸 5

『ふるさと加西創成振興計画（生涯学習振興計画）』の策定を」というところで、縦割りで考えるのではなく、教育振興基本計画も盛り込みながら、教育のあり方全体を考えていくと、より良いものになるのではないかと。

(委員長)

第 3 章の短期的戦略の順番について、私は、何のためにこれをするのかということを出そうと思って、このような順番にしたのですが、一貫性がなかったかもしれないですね。

それから、オークタウン加西については、研修センターという名称ですが、拡大解釈をして、コワーキング・スペースがあった方が面白いということでした。

少し話は変わりますが、この部屋に掲示してある、加西市富田小学校の 5 年生が作った「富田 STEAM オークタウン加西改造計画」というもの、これは、いかに論理的に答えを出すかを問にしている実践で、方法論が明記されています。こういうデータを調べました、或いはこういうヒアリングをしてきました、その結果として私はこう考えます、という内容になっています。

すごく素敵な発表で、こういうことが普段から起こるようなれば、加西市の公民館やオークタウン加西の未来は安泰だなと思います。

(第3グループ)

○発表内容

・P1,タイトル

タイトルの「居場所をプラス 全世代のワクワクをプラス つながりを育む KASAI を」というところで、「プラス」というのは、何かベースのものがあつた上に乗るものだと思う。

加西市の公民館やオークタウン加西の場合は、今のものが良くて、それにプラスさせるといふより、今のものを変えていく方向にあると思う。それであれば、もっとベースのことを核に書いた方がいいのではないかと。例えば、「全世代のワクワクに居場所をプラス」など。

・P1,はじめに

「はじめに」のところ、社会教育の重要性を行政の中で高めていくことが明記されていれば、後のことがより読みやすくなるのではないかと。

また、市民の方の中には、これくらいの規模の市に4つも公民館がいるのか疑問に思っている方もいらっしゃるのではないかと。そのため、4つの公民館が必要だということを明記する必要もあると思う。

また、教育長のお話にもあつたように、他の公共施設との役割整理についても書くことができればいい。

・P1,A

「だれでも自由に『楽しめる』公民館に」というところで、「楽しめる」というのはプラスの部分にあると考えるため、もともとの「学び合う」や「刺激し合う」という部分も入れた方がいいのではないかと。

・P1~P4 (第2章~第3章)

第2章に理想像、第3章に具体的な提言が書いてあるが、この理想と提言がリンクするようになった方がいいのではないかと。場合によっては、表を使ってもいいのではないかと。

・P2,2番

「オークタウン加西の未来像」について、こういった施設を利用してきた立場から見ると、ここ10年ほどで子供たちが体験活動をする場が本当に減ってしまったと感じる。だからこそ、オークタウン加西は、そういう施設でいなければいけないと感じる。報告書には、学校や家庭以外の社会で学ぶ、子供たちの体験活動の拠点ということを明記したい。

また、それに対して、研修施設やコワーキング・スペースという、多目的利用できる場所であつてもいいのかなと思う。

・ P3,1 番

第3章の「短期的に取り組んでもらいたいこと（短期的戦略中心）」は、先程のグループも言われていたが、項目の順番を入れ替えた方がいいのではないかと。

・ P3,1 番,黒丸 2

「民間との連携による『おもてなし』意識の向上のための職員研修の実施」というところで、「おもてなし」という言葉が使われているが、利用者がお客さんになってしまうと、公民館の本来の良さが半減してしまうのではないかと思う。

お客さんではなく、利用者も公民館を盛り上げる主体者の1人だという意味合いがあった方がいいのではないかと。また、一緒に運営していくという意味合いがあった方が、公民館の持続的可能性が出てくると思う。

・ P3,1 番,黒丸 3

「行政の各部局職員から3名を『公民館サポーター』に任命する」というところで、加西市には、実際、校区ごとに市の担当職員がいるため、そんな中に公民館の市の担当職員というものがあってもいいのかなと思う。

・ P4,3 番,黒丸 1

「コワーキング・スペースの創設を」は、長期的目標ではなく、短期的目標に入れてもいいのではないかと。

(委員長)

第1グループは、コワーキング・スペースをオークタウン加西に作るのもいいのではないかとということでしたが、このグループは、どこに作る想定でしょうか。

(委員 A)

ワーケーションというオークタウンにあってもいいのかなと思いますが、コワーキング・スペースであれば、もう少し街中にあつた方がいいのではないかと。

(委員長)

なるほど。子どもの体験活動の場でもあり、コワーキング・スペースも創設、という少し矛盾する感じがしますね。あれもこれもというと、これまで育ててきたものがつぶれてしまう可能性も確かにあります。ここは非常に悩ましいところです。

また、先程の富田小学校の子どもたちもそうですが、オークタウン加西のことを自分の居場所として一生懸命考えてくれる人たちを排除しない方向性で、統一感のあるものを出したいですね。

(第2グループ)

○発表内容

・ P1, タイトル

タイトルについては、個人的に考えたものだが、プラスという意味で「加」、人生の彩りという意味で「彩」の漢字を使い、加彩（かさい）と表現するのはどうか。

また、播磨国風土記の根日女にかけて、愛にまつわるタイトルや、上手く韻を踏んだタイトルにするのもいいのではないか。

・ P2, F

「住民が互いに学びながら『社会を変える動きにロマンを感じる』公民館に」というところで、「ロマン」というと、人それぞれ感じ方が違うと思う。提言として使う際は、「ロマン」をどのような意味合いで使っているかということまで言うことができればいい。

・ P2, 2 番

公共施設の役割分担について、オークタウン加西は、青少年育成に特化するなど、すみ分けをすることが一つの方法かなと思う。

・ P3, 1 番, 黒丸 2

『おもてなしボランティア』の募集」というところは、先にボランティアを募集するのではなく、まずは公民館職員の研修をしっかりと行い、手が回らない部分を見定めたいうえで、行うのであればいいと思う。

・ P3, 1 番, 黒丸 2

「各公民館に『オンライン相談窓口』の開設」というところで、委員長が先程イメージを問われていましたが、我々が考えていたのは、あらかじめ公民館と色々な専門機関を繋いで、直接、専門機関へ行かなくても、近くの公民館に行けば、オンラインで相談にのってもらえるというようなものです。

・ P3, 1 番, 黒丸 3

「公民館館長を、教育界のみならず、広く加西市住民から公募する」というところで、加西市住民に限定することなく、市内外から広く募集するのがいいのではないか。

・ P3, 1 番, 黒丸 3

「公民館ネットワーカー・チームを組織化する」というところで、人員を「各公民館から、非常勤職員および有償ボランティア複数名」とあるが、現有戦力から出すことは厳しいのではないか。こういったチームを組織するのであれば、新しく人員を募る必要があると思う。

・ P5,1 番,黒丸 4

「社会教育に関する条例・施行規則の改正を」というところで、例えば、儲けてはいけな
いとなっている部分であったり、施設の利用に制限があったりするところに緩和措置が必要
ではないかと思う。そうすることで、市民の施設利用促進を図ることができるのではないか。

・ P5,2 番,黒丸 3

「予算の確保・拡充のために具体的な工夫を」というところで、予算を要求するだけでは
どうにもならないところがあるので、限られた予算をどういう配分するかが大切になると思
う。

例えば、4つの公民館の事業を見て、重なる部分は削って他に回す、もしくは、どこかの
公民館にやりたい事業があれば、別の公民館は予算を削るというような話し合いができるの
であれば、限られた予算の中で配分を柔軟に変える仕組みができるのではないか。

(委員長)

オンライン相談窓口というのは、ワンストップ窓口のようなイメージですね。公民館職員
に専門的な知識があるわけではないけれど、公民館へ行くと適切な相談先へオンラインで繋
げてもらえるということですね。

予算の確保・拡充については、公民館の共通予算のようなものが増えて、専門性の高い職
員や館長が集まって、1年間のお金の使い方を相談するというような柔軟なことができれば
いいのではないかということでした。

他に、ここはこうすればいいのではないかというような意見はありませんか。

(委員 B)

施設のバリアフリーに関する意見が入っていなかったように思いますので、入れていただ
きたいと思います。

(委員長)

そうですね。バリアフリーもただ単に入れるのではなく、ストーリーを作りながら入れた
いですね。

もし、お家に帰られてから報告書のタイトルや新しい意見などが思い浮かびましたら、事
務局に連絡していただいても、僕に直接連絡をくださっても構いませんので、おっしゃって
ください。

4. ふりかえり

～ふりかえりシートを記入～

5. 閉会